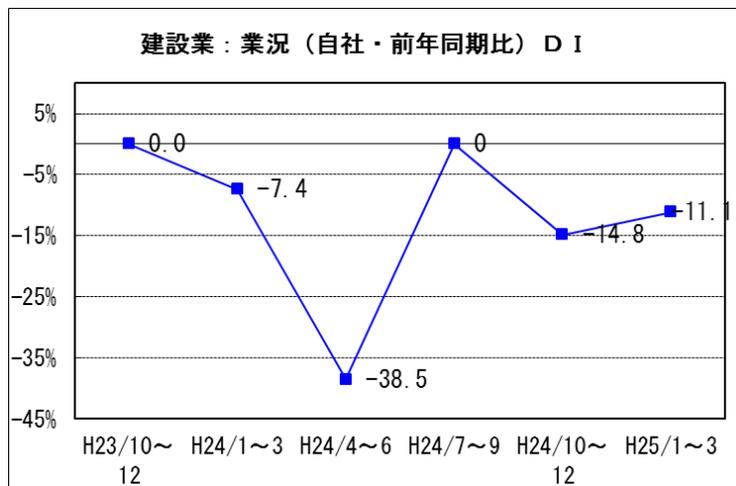


3. 建設業の動向

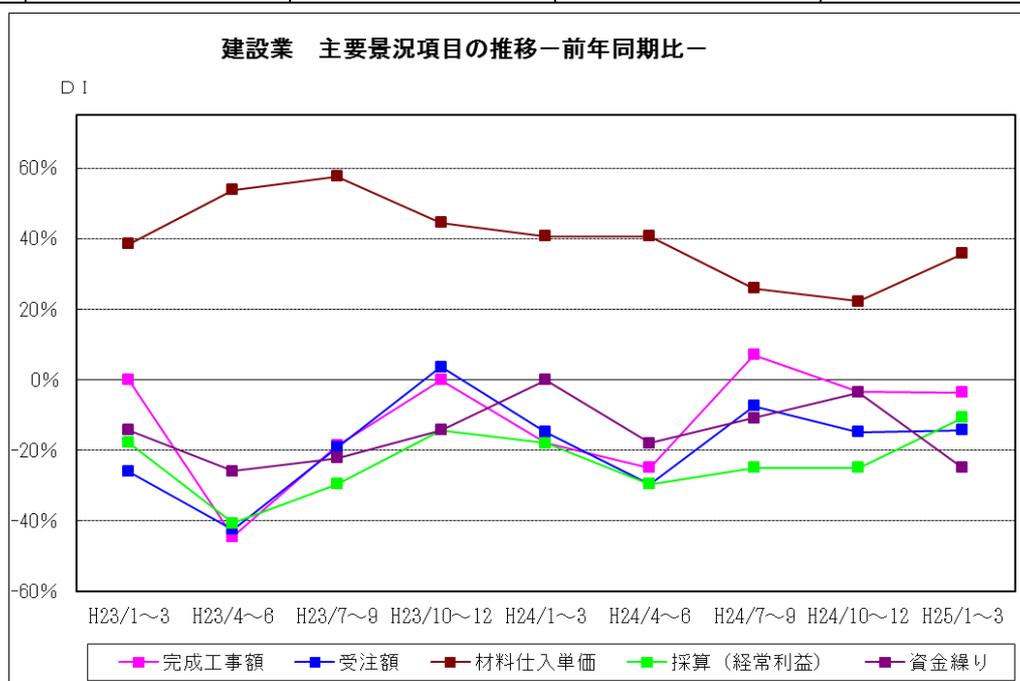
(1) 業況概要（前年同期比）

今期の業況DI値は、マイナス11.1。前期の14.8から3.7ポイント上昇した。来期見通しは、マイナス11.5とほぼ横ばいの見込み。



建設業の主要景況項目 DI 値の推移（前年同期比・%）

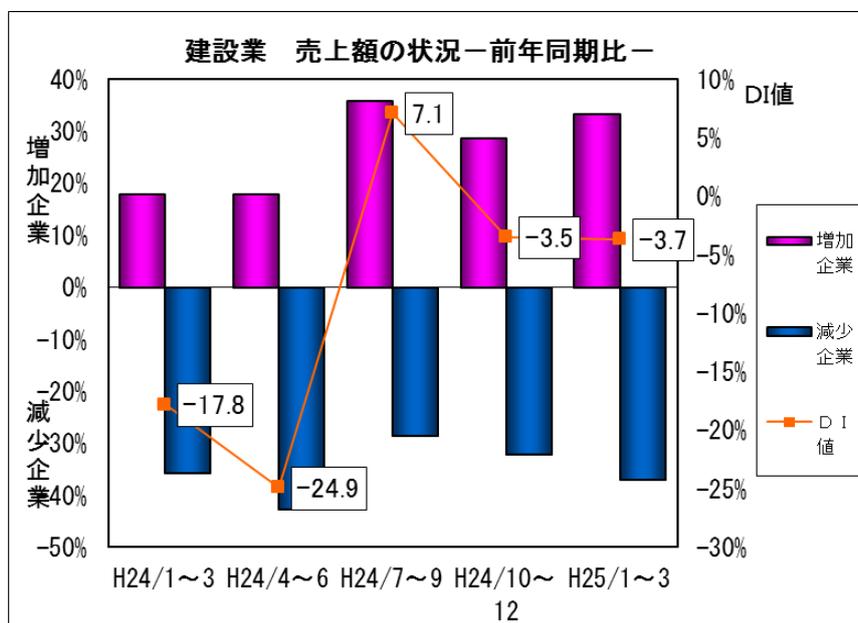
	前々期 (24年7月~9月)	前期(A) (24年10月~12月)	今期(B) (25年1月~3月)	今期と前期の差 (B) - (A)	来期 見通し
完成工事額	7.1	▲3.5	▲3.7	▲0.2	▲3.6
受注額	▲7.4	▲14.8	▲14.3	0.5	0.0
材料仕入単価	25.9	22.2	35.7	13.5	28.6
採算(経常利益)	▲25.0	▲25.0	▲10.7	14.3	▲3.6
資金繰り	▲10.8	▲3.6	▲25.0	▲21.4	▲21.4



(2) 主要項目の概況 (前年同期比)

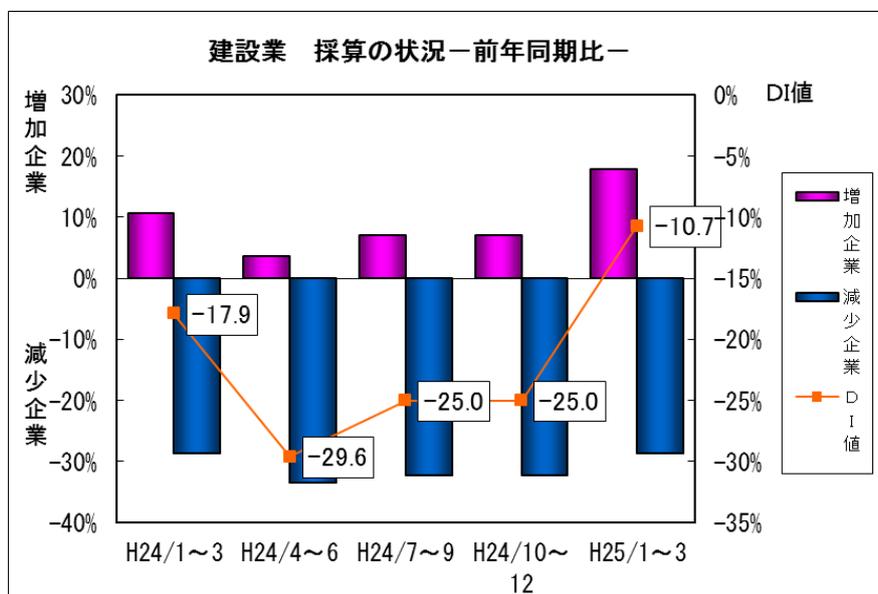
①完成工事額 (前年同期比)

今期の完成工事額D I値は、マイナス 3.7。前期のマイナス 3.5 からほぼ横ばい。来期はマイナス 3.6 とほぼ横ばいの見込み。



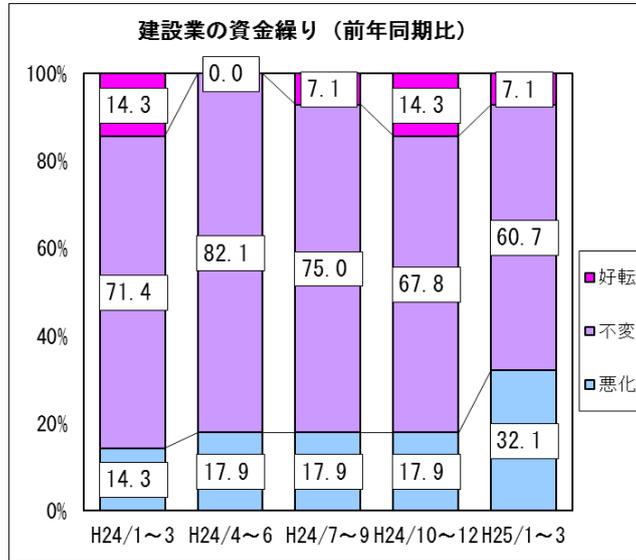
②採算 (前年同期比)

今期の採算D I値は、マイナス 10.7。前期のマイナス 25.0 から 14.3 ポイント上昇した。来期見通しは、マイナス 3.6 と上昇回復の見込み。



③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りD I 値は、マイナス 25.0。前期のマイナス 3.6 から 21.4 ポイント下落した。来期見通しは、マイナス 21.4 と上昇回復の見込み。

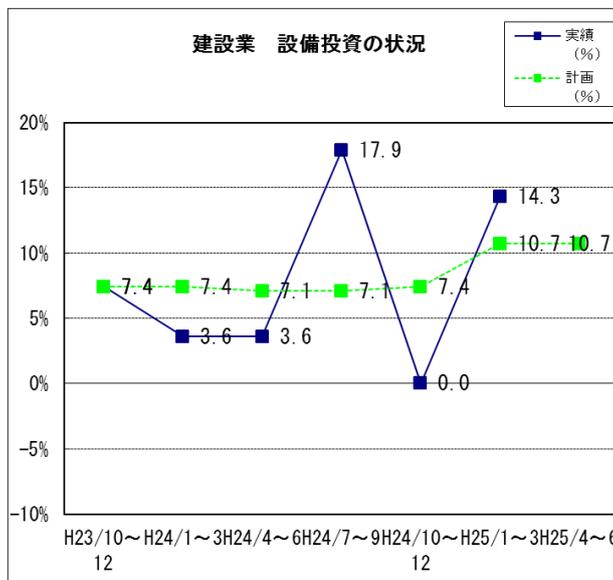


④設備投資

新規設備投資の状況

	あり	投 資 内 容								なし
		土地	建物	建設機械	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
前期実施 (実数)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28
(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
今期実施 (実数)	4	0	0	1	2	0	1	0	1	24
(%)	14.3	0.0	0.0	20.0	40.0	0.0	20.0	0.0	20.0	85.7
来期計画 (実数)	3	0	1	0	2	0	0	0	1	25
(%)	10.7	0.0	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0	89.3

今期設備投資を実施した企業は 4 社（14.3%）。前期（平成 24 年 10～12 月期）の実施企業 0 社（0.0%）から上昇。来期の設備投資計画は 3 社（10.7%）と横ばいである。



⑤経営上の問題点

今期、経営上の問題点として建設業が一位～三位にあげる項目は、

- ・ 「民間需要の停滞」 (前期 46.2%→今期 46.7%)
- ・ 「請負単価の低下、上昇難」 (前期 46.2%→今期 40.0%)
- ・ 「官公需要の停滞」 (前期 38.5%→今期 23.3%)
- ・ 「取引条件の悪化」 (前期 35.0%→今期 23.3%)

となっている。

